



〒064-8624
札幌市中央区宮の森4条8丁目1番地
TEL 011-611-4401
FAX 011-611-4403

【交通のご案内】
地下鉄東西線「西28丁目」下車 徒歩15分
JR北海道バス／西21、循環西20、循環西21、
琴40、琴46「西高校前」下車 徒歩2分

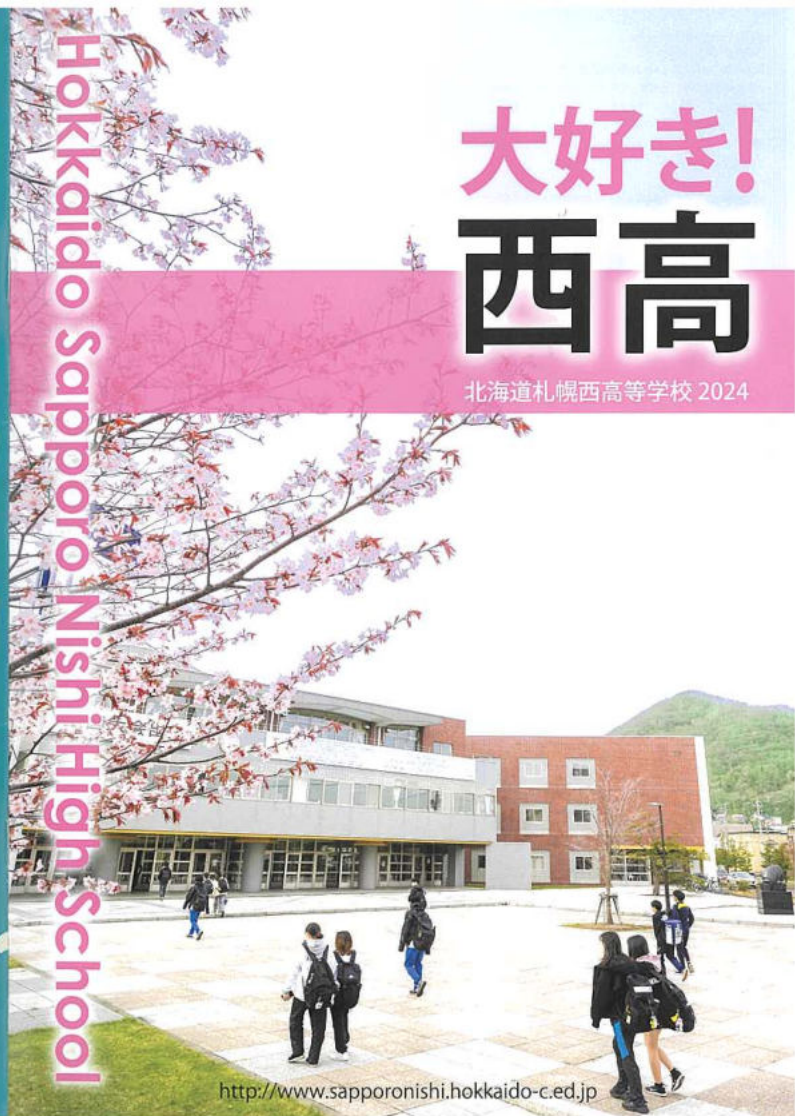


【原画制作】美術部2年生
小野寺 凜/小宮 幸乃

Hokkaido Sapporo Nishi High School

大好き!
西高

北海道札幌西高等学校 2024



<http://www.sapporonishi.hokkaido-c.ed.jp>

西高の魅力は?

西高の魅力は何と言っても、自由な校風ゆえの1人1人の豊かな「個性」だと思っています。私服という点もそうですが、誰も他の人に染まらず自分の魅力を最大限に引き出しています。そしてそれを発揮できる、西高で特徴的な活発な行事やイベント。こんなにも自分の長所や能力に気づかせてくれる成長させてくれる環境は、滅多に無いと思いますし、勉強以外の将来に必要なものを学ばせてくれます。(山口)

西高の魅力といえば、「自分を自由に表現できる」という点だと思います。西高は非常に自由な校風であり、校則に縛られている、と部活動は自分自身一度もありません。「周りの視線を気にして思うように自分を表現できない」と思っているそのあなた! 私服登校がOKな学校である、ファッションで自分を表現することもできますし、体育系文化系ともたくさんの部活動があるので、色々な経験ができると思います。自分の挑戦に対して、応援してくれる周りの空気はとても気持ちいいです。(鈴木)

在校生が語る! 実際 西高座談会 どうなの?



山口 陽さん
3年3組
(札幌市立平岡中央
中学校出身)
弓道部

村田 穂乃花さん 3年3組
(新潟市立和歌
中学校出身)
オーケストラ部

永長 佑一さん 3年4組
(札幌市立豊南中学校出身)
ハンドボール部

鈴木 大翔さん
2年3組
(札幌市立立見
中学校出身)
学生会委員

私は札幌から遠い新習町の出身ですが、どうして私が西高を受けようと思ったのかを少し話します。もともと札幌の高校で高いレベルで勉強を頑張っていたと思っていた中で、自由に学校生活を楽しみながら、たくさんの個性的なおもしろい行事のある西高に惹かれました。また、中学校で吹奏楽をやっていた自分にとって、他の高校にはないオーケストラ部がとても魅力的に感じられた部分もあります。西高についての情報を集めるときには、大好きな西高の高校のページをよく見て、最終的には学力面も考慮した上で、自由な校風の高校に行きたいと強く思い、西高を受けることにしました。実際に西高へ進み、最初の行事はどれも盛り上がりで、コロナ禍で制限のあった行事も徐々に例年通り行われて、ますます本来の西高らしい行事を体験できてとても楽しいです。(村田)

西高の魅力は全て完璧に行うところだと思います。勉強も部活動も行事も、誰かが言わなくてもみんな自発的に一生懸命やっています。ただ、ずっと気を張るのではなく、遊ぶときは遊ぶ、休むところは休んでいます。このメリハリがさすが西高生という感じです。(永長)

高校の勉強は大変?

難易度は格段に上がり、毎週何時間かのテストもあるので確かに大変だと思います。ですが、西高生は学びの中心に楽しさを見つけて出すのが上手です。授業の雰囲気は非常に賑わっていて面白く、一見ただ勉強やテストに見えて内では学びを深めています。そんな西高ですから大変だと思うところもありますが、喜んだと思ったら一度もありません。(山口)



山口 陽さん

鈴木 大翔さん

村田 穂乃花さん

永長 佑一さん

道石は札幌西高というべきか、気を抜いていると置いていかれてしまいます。一度聞いて行かなくてもいい、取り戻すのはとても大変です...!! ですが、諦めることはありません。先生方はいつでも僕達の疑問の解消のために教えてくれます! わからなかったことがわかるようになるのは何物にも代えがたいものです。放課後には教室や自習室で多くの生徒が勉強しており、1人で勉強をしようと集中できないという君も安心! 学校全体が勉強に慣れた環境だからこそ、生徒のモチベーションが高いまなざしだと思います。(鈴木)

私にとってですが、西高での勉強は正直かなり大変です。内容が難しいこともあり、周りのレベルも高いので模試や試験で他の人の成績と比べて落ちること多々あります。わからないことは積極的に先生方に教えてもらい、やりがいはあると思います。(下記の部活動とも関係があります) 私は1年生になってからは、親元を離れての生活や中学校と比較して難易度の高くなった勉強への不安な気持ちから、部活動に入ろうかどうかでも迷っていましたが、部活に入っているみんなが勉強を続けることでは、セーブの高校生活なので勉強で不安な人も部活に興味があれば入り込むことをおすすめします。(村田)

西高の勉強で大変だったことは両立です。部活に入っていると勉強時間があまりなかったんです。なので僕は授業にとても集中して取り組み、家でやることを減らして、土日にまとめて勉強するというように計画立ててやりました。生活リズムも中学校と異なり、両立するのは大変ですが、全く苦しくないのが西高生です。(永長)

部活動は楽しい?

西高生は何れも部活動に所属している人が多い印象です。私は弓道部に所属していました。もちろん素晴らしい仲間と努力する日々は楽しかったですし、何とて最終の大会、団体戦で高校弓道最後の一戦を勝利で迎えたときの達成感は今でも忘れられません。この感覚を経験するだけでも十分に部活動としての価値があったと思います。(山口)

西高には体育系文化系ともたくさんの部活動があり、これも西高の魅力の一つと言えます。僕は生徒会執行部に所属しています。西高の執行部にはなんと部を越える生徒が所属しています! 中学校の生徒会をイメージしている方はびっくりしたのではないしょうか? 西高にはいつもの行事があるため、それらの行事を促進執行部員主体となって企画運営しています。一つの

行事を乗り越えたあとの達成感忘れられません。皆さん「楽しかったよ」と言ってもらえたら一番の喜びです。(鈴木)

私が所属しているオーケストラ部では、毎年の定期演奏会や高文連の年に数回校内のアリウムで行われるアリウムパフォーマンス、そして今年はコロナ禍が明け学校祭での演奏もさせていただくことになりました。私がオーケストラ部に入ったのは中学校で吹奏楽部に入っていて、そのまますべての楽器でなかったのと、オーケストラという、西高の伝統的な、他の高校ではなかなか体験できない音楽に触れたいと思ったからです。部活と勉強の両立は簡単なことではあませんが、学年を越えての関わりがもたらしてくれる、自分のやりがいことや好きなことに集中できる機会をもらったりとたくさんのやりがいがあります。たくさんの部活動があるのは西高の魅力のひとつで、色々な部活について調べてみるといいかもしれません。(村田)

僕は高校3年間、ハンドボール部に所属していました。この部活は初心者ばかりで、高校3年生からでも始めやすかったです。また、同級生だけでなく先輩後輩問わず仲が良く明るい雰囲気、クラスとは違う交友関係ができます。西高には多くの部活動があるので、きっと自分に合った部活動が見つかるはずです。(永長)



西高で待ってます!!

これは何言っても、西高に入ったら後悔は絶対にありません! 勉強、行事、生活面、何をしてもみんな素晴らしい仲間と努力する日々は楽しかったですし、何とて最終の大会、団体戦で高校弓道最後の一戦を勝利で迎えたときの達成感は今でも忘れられません。この感覚を経験するだけでも十分に部活動としての価値があったと思います。(山口)

西高はとにかく意味で高校から入る学校は少ないと思います。勉強だけでなく、自分のやりたいことを見つけられる素晴らしい学校です! 「勉強が辛い!」と思ってしまうときは西高生になった自分を想像してみてください。この学校での経験が楽しいことだらけです。僕はまだ2年生なので、「大好き! 西高!」を叫んでいるみんなが来年入学してくることを楽しみにしています!! (鈴木)

もちろん大変なこともあります。それ以上の楽しさ充実した学校生活が西高で送れるはずです。行事、校則、西高ならではの様々な素敵な高校生活で、ぜひこの学校で素晴らしい高校生活を送ってください!(村田)

今、志望校を目指して勉強を頑張っていることが、高校に入ってから自信になります。壁にぶつかったり、あきらめかけた時に大丈夫と思えるからです。そして西高には色々なことがあって、色々なイベントがあります。あなたが思っているよりも楽しいです! 西高で素敵な思い出をたくさん作りましょう! 応援しています!! (永長)

日本のリーディングハイスchoolを目指して

～創造性・独創性を育み、グローバル人材を育む教育活動～

本校の創立にあたって初代校長 善波 功は、北海道の小天地を目標とするのではなく、全国屈指の学校を目指していました。

現在も、その志を引き継ぎ、日本のリーディングハイスchoolを目指して時代に応じた様々な教育活動に取り組んでいます。



第36代校長 藤村 誠

アドミッション・ポリシー

本校は、1913年(大正2年)に北海道庁立第二札幌中学校として開校し、1950年(昭和25年)に男女共学の北海道札幌西高等学校と改称しました。来年の2024年(令和6年)には、創立112周年を迎える道内屈指の伝統校です。

校訓「自由 自律 敬智 創造」や西高実行精神「やることはやる やるときはやる やれるだけやる」のもと、自由闊達な校風を受け継ぎ、視野を広げ、豊かな人間性を育む様々な教育活動を推進して、多くの優れた人材を我が国のみならず世界に輩出してきました。

本校では「深く、しっかりと学び」を実践し、幅広い教養と将来の研究活動の基礎となる学力の定着を図り、持続可能な社会の構築に強い意志を持ち、リーダーシップを発揮して社会変革を担っていく人材の育成を目指した教育活動を推進しています。

そのため、次のような生徒の入学を期待しています。

【求める生徒像】

- ◆学歴、人物ともに優れ、将来の夢や希望を実現させようとする強い意志がある生徒
- ◆旺盛な知的好奇心を持ち、自らの能力を活用して社会に貢献しようとする高い志を持っている生徒
- ◆国際交流や国際理解に強い関心を持ち、次世代を担うグローバル人材に必要とされる資質・能力を高めた生徒

カリキュラム・ポリシー

西高スタンダード「深く、しっかりと学び」の推進

幅広い教養、将来の研究活動の基礎となる学力の定着を図ります。視点で学習の深淵を極め、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を育成します。

「総合的な探究の時間」における探究活動

教科の枠を超えて、自分の追究したいテーマを設定して自由に「探究」していきます。教育課程に位置づけ、校外への実地調査や取材、外部講師を招いてのレクチャーなど



第2学年の様子(R4年度)



第3学年の様子(R5年度)

西高プログレス(ポストSSH)「創造性・独

- 国際社会で活躍している方による講演会の実施

■造路講演会:著名な大学教授の講演(R1:中央大学「AI原則とロボット法」)

- 高大連携

「科学技術系人材育成プログラム」
■札幌西高校地学道後→留萌管内
■サイエンスキャンプ(生物)→早稲田大学
■研究室訪問→東京大学、北海道大学等
■科学に関する特別講義



R1年 造路講演会

SSH(スーパーサイエンスハイスchool)事業で開発したプログラムなどを活用し、

- 高大連携「医療系人材育成プログラム」

■医学セミナー→札幌大・旭大の講師による講演
■地域医療体験活動→旭大と連携した病院実習

西高グローバル・エデュケーション

「グローバルな視野を育成する教育活動」の推進～R4年度 海外研修参加者27名

海外セミナーの開催や外国人研究者による講演会等を行うとともに、様々な海外研修への参加や海外留学を通じた国際交流を推進するなどグローバル人材の育成に取り組んでいます。

- 海外セミナーの開催実績
■フィンランド大使、アイルランド領事官来校(R4)
●イギリス短期研修の実施(参加生徒10名)
夏期休業中に実施する研修。各校生との合同実施
- アイルランド研修の実施(参加生徒16名)
滞在14日中、現地高校の授業体験や大学訪問、博物館・世界遺産等での研修実施
- シンガポール研修の実施(参加生徒10名)
7日間にわたってアジアNo.1の大学NUSキャンパスツアー、日系企業見学、SDGs探検学習等を実施



R4年 アイルランド研修



R4年 シンガポール研修

- 西高生国際交流の派遣実績(主な事業)
■北海道・アムステルダム国際高校生交換留学事業
■JENESYS 2018 韓国研修(H30～14名)
■ビクター留学Japan日本代表プログラム(R3～2名)
■Dot STATION Summer Tour 2018 中国(H30～1名)
■日韓高校生交流キャンプ広島(H30～1名)
■半年以上の海外留学等(R4～2名/マレーシア・フィンランド)
■留学生の受入(H30～1名/スイス)
■オンラインシンガポール研修(R4～10名)
※R2～3年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、ほとんどの事業が中止になりました。

グラデュエーション・ポリシー

【育成を目指す資質・能力】

卒業までに、次のような人材になることを求めて日々の教育活動を行っています。

- ◆創造性や独創性にあふれ、高い知性と豊かな情操、強い志を兼ね備え、持続可能な社会の実現にリーダーシップを発揮できる人材
- ◆多様化した国際社会で主体的・協働的に生きる資質を身に付けた次世代を担う人材

本校では、国や道からの支援や西高の支援団体である「一般財団法人札幌西高会」、「輔仁会」、「振興会」、「PTA・後援会」等からの支援も受けており、毎年、生徒の学習活動や諸活動(西高プログレスや海外研修等)に取り組みやすい学習環境をつくるよう努めています。西高に入学して、将来日本のみならず世界で活躍する人材となる素養を身に付けましょう。

創造性を開花させる教育活動」の推進



北大研究道後訪問(地球惑星科学科)



科学に関する特別講義

国際社会で通用する、高度な素養を備えた人材の育成に取り組んでいます。

- 理数系コンテスト等への参加
■科学の甲子園北海道決勝大会出場
■物理チャレンジ/化学グランプリ
■青少年のための科学の祭典参加



「やれるだけやる」

絶対あきらめない!西高魂

大学合格は越えるハードルの一つ、その先の未来を描こう!

令和5年度入試【大学合格者数】

国公立大学 216名 (うち設校173名)			
北海道大学	62(53)	東京大学	3(2)
小樽商科大学	23(21)	お茶の水女子大学	1(1)
北海道教育大学	13(13)	東京外国語大学	4(4)
札幌医科大学 (医)	9(4)	東京農工大学	1(1)
札幌医科大学 (保医)	4(2)	横浜国立大学	5(2)
公立はこだて未来大学	2(2)	名古屋大学	2(1)
室蘭工業大学	5(4)	金沢大学	5(4)
旭川医科大学 (医)	6(2)	京都大学	5(4)
千歳科学技術大学	4(4)	京都芸術繊維大学	1(1)
札幌市立大学	5(5)	大阪大学	3(2)
国際教養大学	1(1)	神戸大学	2(1)
東北大学	4(4)	九州大学	3(1)
一橋大学	1(1)	東京都立大学	4(4)
千葉大学	3(3)	大阪公立大学	3(1)

(うち国公立大学 医学科 17(7))

※()内は現役合格者数

私立大学 381名 (うち設校258名)			
北海学園大学	39(29)	明治大学	18(12)
藤女子大学	9(8)	青山学院大学	3(2)
北星学園大学	9(9)	立教大学	11(10)
北海道科学大学	19(13)	中央大学	22(20)
北海道医療大学	20(19)	法政大学	35(22)
天使大学	8(8)	成蹊大学	3(3)
酪農学園大学	8(3)	芝浦工業大学	12(4)
早稲田大学	12(10)	日本大学	12(5)
慶應義塾大学	2(1)	同志社大学	13(7)
上智大学	1(1)	関西学院大学	9(4)
東京理科大学	12(5)	立命館大学	10(1)
東京女子大学	2(1)	関西大学	7(6)
		など	

※()内は現役合格者数

多彩な分野で才能を発揮!わが西高の先輩たち (敬称略)



佐藤忠良作「青春」



本郷新作「抱く女」



山内壮夫作「家」



山内明二作「けものを買おう男」



笠井誠一作「水鏡しかりん」とあけびのある静物」

- 【二中8期】坂本 直行(西京、ハナ花)の装幀紙のデザインなど
- 【西高5期】本郷 新(池田家、本校所蔵「鳥を抱く女」)
- 【二中9期】山内 壮夫(即興家、本校所蔵「家」)
- 【二中14期】佐藤 忠良(前京家、本校所蔵「青春」)
- 【二中15期】伊藤部 昭(作曲家、「フジ」のテーマ曲など)
- 【西高9期】船山 馨(小説家、山内明二文学賞受賞、著書「石原千鶴」など)
- 【二中21期】本田 明二(池田家、本校所蔵「けものを買おう男」)
- 【二中後1期】高橋 操一郎(小説家、芥川賞受賞、著書「仲子」など)
- 【二中32期】品田 雄吉(映画評論家、元多摩美術大学名誉教授)
- 【西高1期】笠井 誠一(国策、本校所蔵「水鏡しかりん」とあけびのある静物)
- 【西高1期】森本 正夫(経済学者、元北海道学理事)



東京大学 文科二課 1年生
武田 花々実さん(米田中学校出身)

「環境を活用しよう」
大学に入って知った人と話しても、西高はかなり特殊な学校のように思えます。校則が自由だけでなく、他の学校にはない行事がたくさんあります。勉強のサポートも手厚いし、部活もたくさんあり、図書館には面白い本がたくさんあります。また、コロナの間は参加できませんでしたが、海外研修プログラムも魅力的だと思います。つまり、西高は何か自分が見たいことにチャレンジする環境は十分に整っています。3年間だけの高校生活です。やりたいことを何でも試してみようというふうが。留学するのでもいいし、本をたくさん読むのでもいいし、せっかくなら自分らしい見たい目を探してみたいと思います。同じ環境でも、チャンスは挑戦した人しか回って来ません。だから、友達を大切にしてください。私は最初人間関係に興味がなく、友達と呼べる人もおらずでしたが、今ではあったりしないかなーと思います。西高には、面白い人がたくさんいるし、高校の友達に大学に入ってから皆さんの支えになってくれると思います。皆さんの高校生活が、思いつくような素敵なものになることを願っています。



北海道大学 総合系 1年生
江面 卓人さん(福中中学校出身)

「自由」
西高での生活を振り返るとかなり充実していたと思います。学校祭、修学旅行、日常生活でもたくさん良い思い出がたくさんあります。これらが良い思い出になったのは西高が自由であるからです。普通の高校では味わえない楽しい時間を過ごすことができます。また、周りの人のユニークな発想や行動にさらに楽しんでいる生活を送ることができました。さらに西高での自由というのは、皆が節度を持った責任ある行動をするだろうという先生方からの期待の上に成り立っているものであると思います。その期待に応えるために勉強、部活、行事などいろいろなことに取り組みしてほしいです。「二重道うもは三重を追い」です。また、西高には優秀な仲間たちや熱意のある先生方など頼りになる人たちがたくさんいます。これらの人たちが皆と皆さんの進路を実現する助けになると思います。実際自分も友達や先生方から信頼されてきました。西高で得た貴重な経験は将来に役立つことになると思います。全力で楽しめ、悔いのない生活を送ってほしいです。



札幌医科大学 医学部医学科 1年生
清水 恭太さん(袋井中学校出身)

「学力だけじゃない」
皆さんが高校に入ってから最終的に目指すのは志望校合格だと思います。西高には親身に関わり合ってくれる先生方、目標の高い同期たち、自習室などの施設と、皆さんの目標達成のための環境が間違いなく整っています。ですが、私が伝えたい西高の魅力は頭が良くなる点もそうですが、一番伝えたいことは自由な校風や様々な行事を通して人として大きく成長できることです。多様な個性に触れ、自分にはなかった新たな考え方を知ったり、自分とは考え方が異なる人とのコミュニケーションの取り方を自然と学ぶことができ、生きていくうえで学力以上に大切なスキルを身に付けることができます。高校3年間は、自分を形成する上でのターニングポイントとなると私は思います。そんな大切な3年間を西高で過ごすことは皆さんにとってプラスになると間違いなくです!
私たちの学年はコロナに悩まされ、行事も十分に行うことができませんでした。それでも私はすごく楽しい高校生活を送ることができました。西高は出会いの時期も最高なんです。これからは行事も復活するはずですので皆さんが最高の「西高」を送れるように頑張っています!

- 【西高3期】内山 青(元読売新聞グループ本社代表取締役社長)
- 【西高5期】李 振成(小説家、芥川賞受賞、著書「起るつらう」など)
- 【西高7期】蛇川 忠雄(元読売新聞編集長、元日野自動車会長)
- 【西高9期】長瀬 清(元北海道医師会会長)
- 【西高10期】川村 隆(元独立製作所会長・社長)
- 【西高9期】大和田 榮治(政治家、元北海道医科大学学長)
- 【西高10期】山内 亮史(教育社会学者、元札幌大学学長)
- 【西高11期】横橋 孝弘(元読売新聞編集長、元北海道知事)
- 【西高11期】新川 組夫(元北海道医療大学学長)
- 【西高12期】上出 洋介(元読売新聞編集長、元名古屋大学名誉教授)
- 【西高12期】安部 紀子(政治家、北海道二期会理事)
- 【西高12期】長沼 修三(元札幌市議会議員、元北海道建設局長)

- 【西高16期】長沼 昭夫(株)きとや代表取締役会長)
- 【西高20期】中田 昌樹(指揮者)
- 【西高24期】田中 裕子(女優)
- 【西高26期】戒毛 真(元日本イコノフット社長)
- 【西高26期】有末 真哉(元三井生命(大東生命)会長・社長)
- 【西高30期】須藤 寿(北海道環境社会学会)
- 【西高31期】谷村 志穂(小説家、著書「海潮」)
- 【西高34期】水口 哲也(ゲームクリエイター、「セガサターン」と「ソニック」など)
- 【西高45期】高谷 好位置(哲人)

「やることはやる、やれるだけやる」西高生 勉強の極意



【めざす生徒像】

- 1.自由闊達な校風を継承し、自律的精神を身に付けた生徒
- 2.豊かな情操と高い知性を身に付けた生徒
- 3.強靱な体力・気力を養い、活気ある明朗な生徒

教育課程

- 1・2年生で、英語・数学・国語の基礎・基本を確実に身に付けます。
- 3年生で、類型及び多様な選択科目の設定により、各自の進路に応じたより深い学習を行います。

※科目上の枠線は通年単位の時間数を表します。
 〇点線部分部分は選択科目など、興味や進路志向に従って選択します。

1年生	2年生	3年生	類型
1 現代の国語	1 論理国語	1 論理国語	1 論理国語
2 言語文化	2 公共	2 古典探究	2 古典探究
3 地理総合	3 数学Ⅱ	3 古典探究	3 古典探究
4 歴史総合	4 数学Ⅱ	4 古典探究	4 古典探究
5 数学Ⅰ	5 数学Ⅱ	5 数学Ⅱ	5 数学Ⅱ
6 数学Ⅱ	6 数学Ⅱ	6 数学Ⅱ	6 数学Ⅱ
7 化学基礎	7 化学基礎	7 化学基礎	7 化学基礎
8 生物基礎	8 生物基礎	8 生物基礎	8 生物基礎
9 体育	9 体育	9 体育	9 体育
10 保健	10 保健	10 保健	10 保健
11 音楽Ⅰ	11 音楽Ⅰ	11 音楽Ⅰ	11 音楽Ⅰ
12 美術Ⅰ	12 美術Ⅰ	12 美術Ⅰ	12 美術Ⅰ
13 英語Ⅰ	13 英語Ⅰ	13 英語Ⅰ	13 英語Ⅰ
14 英語Ⅱ	14 英語Ⅱ	14 英語Ⅱ	14 英語Ⅱ
15 英語Ⅲ	15 英語Ⅲ	15 英語Ⅲ	15 英語Ⅲ
16 英語Ⅳ	16 英語Ⅳ	16 英語Ⅳ	16 英語Ⅳ
17 英語Ⅴ	17 英語Ⅴ	17 英語Ⅴ	17 英語Ⅴ
18 英語Ⅵ	18 英語Ⅵ	18 英語Ⅵ	18 英語Ⅵ
19 英語Ⅶ	19 英語Ⅶ	19 英語Ⅶ	19 英語Ⅶ
20 英語Ⅷ	20 英語Ⅷ	20 英語Ⅷ	20 英語Ⅷ
21 英語Ⅷ	21 英語Ⅷ	21 英語Ⅷ	21 英語Ⅷ
22 英語Ⅷ	22 英語Ⅷ	22 英語Ⅷ	22 英語Ⅷ
23 英語Ⅷ	23 英語Ⅷ	23 英語Ⅷ	23 英語Ⅷ
24 英語Ⅷ	24 英語Ⅷ	24 英語Ⅷ	24 英語Ⅷ
25 英語Ⅷ	25 英語Ⅷ	25 英語Ⅷ	25 英語Ⅷ
26 英語Ⅷ	26 英語Ⅷ	26 英語Ⅷ	26 英語Ⅷ
27 英語Ⅷ	27 英語Ⅷ	27 英語Ⅷ	27 英語Ⅷ
28 英語Ⅷ	28 英語Ⅷ	28 英語Ⅷ	28 英語Ⅷ
29 英語Ⅷ	29 英語Ⅷ	29 英語Ⅷ	29 英語Ⅷ
30 英語Ⅷ	30 英語Ⅷ	30 英語Ⅷ	30 英語Ⅷ
31 英語Ⅷ	31 英語Ⅷ	31 英語Ⅷ	31 英語Ⅷ
32 英語Ⅷ	32 英語Ⅷ	32 英語Ⅷ	32 英語Ⅷ
33 英語Ⅷ	33 英語Ⅷ	33 英語Ⅷ	33 英語Ⅷ

※数学学習指導要領に合わせ、現在検討中です

学習

【授業】

- 1年間を前期・後期に分け、月・金は6時間、火・水・木は7時間の学びの場を用意しています。
- 授業では基礎から大学入試で問われる高度な内容まで扱います。先生の話を受動的に聴くだけでなく、ペアワークやグループワークに取り組み場面もありますので、主体的かつ能動的に授業に参加することが求められます。速い速度についていくためには、授業以外の場面で自ら時間を確保し学習する習慣を身に付けてください。

【学力向上に向けて】

- 基礎・基本を確実に定着させるため、各教科では週末課題、単元テスト等を頻繁に実施しています。これらに対する日々の努力を3年間継続させることは、部活動・学校行事等にも積極的に参加しながらも、将来の夢を実現させる大きな土台となります。
- 朝の自習プリントの配布や、放課後の学習室の開放を行っています。
- 「スタディ・ニュース」を定期的に発行し、定期考査に向けての学習のアドバイス等の情報提供を行っています。

【3年間の学習指導】

- 1年生
入学してまもなく生徒には「シラバス(授業概要)」を配布。高校で学ぶ教科・科目のガイダンスを行います。3年間を見通した学習計画を1年生の段階から立てます。まずは、授業の予習・復習などの基本的な家庭学習の習慣をしっかりと身に付けます。
- 2年生
将来の進路希望に応じた、教科・科目選択授業を行います。毎日の授業を中心に、計画的な学習を進めながら、自分に合った勉強法をしっかりと身に付けます。大切なのは「知的好奇心を高めること」「自分で課題を見つけること」です。
- 3年生
進路希望に応じた文型と理型に分かれます。1・2年の時に身に付けた基礎が花開き、学び喜びを最も味わえる時期です。入試のための実践的な勉強はもちろん、時には大学レベルに踏み込んで、高度な知識の習得を目指します。

【入学者選抜について】

入学者の選抜に当たっては次に示す3つの方法で、合格者を決定します。

一般入試 選抜方法【募集人員】320名

- 学力点と学習点を同等に取り扱う選抜 募集人員の70%程度
- 学習点を重視した選抜 学力点:学習点 = 4:6 募集人員の15%程度
- 学力点を重視した選抜 学力点:学習点 = 10:0 募集人員の15%程度

キャリア教育

冬休みには、弁護士事務所・病院・テレビ局・新聞社・銀行などでインターンシップを行っています。また、学園について考え、大学進学に向けてのモチベーションを上げる機会として、東大・京大などの教授を招いての進路講演会や、東大・北大等の研究室訪問も行っています。

探究活動

「総合的な探究の時間」において「探究活動」を行っています。すでに分かっていることを調べる「調べ学習」とは違い、分かっていないことを見つけ、その答えを深く究める「探究活動」を通して新しいことに挑戦する力を伸ばしていきます。

講習

長期休業中の講習のほか、3週間ごとに土曜日に実施される「土曜講習」、平日の放課後と土曜日で実施される「期間講習」があります。1年生では英・数・国3教科を中心に、学年進行にともなって理科・地歴公民も実施し、実戦力を養成するための体制を整えています。

模試

全国レベルで自分の実力を確かめます。結果を細かく分析したデータをもとにして、各教科からのアドバイスやHR担任との個人面談により、進路目標を明確にしています。

日課表

登校	～ 8:25	昼休み	12:30～13:10
SHR	8:25～ 8:35	5校時	13:10～14:00
1校時	8:40～ 9:30	6校時	14:10～15:00
2校時	9:40～10:30	7校時	15:10～16:00
3校時	10:40～11:30	SHR	16:00～16:10
4校時	11:40～12:30		

- 月・金は6時間授業
- HR活動(LHR)は火の7校時

	1年	2年	3年
4月	課題確認テスト 進路希望調査	課題確認テスト 進路希望調査	模試 共通テスト対策新模試(対策模試)大学別模試(小論文模試)など、毎月1～2回のペースで実施しています。
5月	進路希望調査	進路別ガイダンス	土曜講習
6月	科目選択	文理選択 定期考査	期間講習
7月	模試	模試	模試
8月	夏期講習(1・2・3年×4日)	夏期講習(1・2・3年×4日)	夏期講習(1・2・3年×4日)
9月	課題確認テスト	課題確認テスト	課題確認テスト
10月	定期考査	定期考査	定期考査
11月	土曜講習	土曜講習	土曜講習
12月	模試	模試	模試
1月	進路希望調査	進路希望調査	進路希望調査
2月	模試	模試	模試
3月	土曜講習	土曜講習	土曜講習

入試本番！
私立大学
国公立大2次

何事も「やるときはやる」それが西高生

新入生 オリエンテーション 歓迎会

生徒会執行委員会や部活動の先輩が、ユニークな企画で盛り上げます。



運動会



西高祭

パワーがみなぎるビッグイベント。
楽しむときは思いっきり
楽しむのが西高流。



入学式



炊事遠足

様々なメニューが登場！先生方のバーベキューも大人気。



卒業式

式が終わる直前にかかる、卒業生の「ちょっと待った!」コールも恒例。
優れた生徒には「善波賞」。笑いあり涙ありの卒業式。



高体連大会 大会に備え、ゴールデンウィークに練習試合や合宿を行う部活動も。



海外研修報告会

定期考査Ⅰ

年4回の定期試験。
「やるときはやる」の西高
実行精神をまずここで
発揮しよう。

July

定期考査Ⅱ

September

体育大会



前期の最後を締めくくると、大会。部活動を引退した3年生も久しぶりに燃えます。

November

定期考査Ⅲ

December



校舎中央のアトリウムでは各部活動によるパフォーマンス(通称「アトリ」)も。



クリスマスには、アトリウムでミニコンサートが開催されます。



March

定期考査Ⅳ

見学旅行(2年)

東京・京都・奈良をめぐる4泊5日の旅。忘れられない思い出になるはず。



February

大学入学共通テスト(3年)

いよいよ受験がスタート。
「西高生は本番に強い!」と定評あり!

節分

かつては授業中の教室に、突然3年生が乱入して豆やお菓子をまいた、謎の伝統行事。
ここ数年はアトリウムに鬼が出没!



海外研修

長期休業中には海外研修を実施。アイルランドやシンガポールでホームステイやプレゼンテーション。

西高創世記 二中から西高4万人の青春「百年の物語」より

札幌に2つ目の北海道庁立男子校として誕生

当時、札幌には北海道庁立の男子校は札幌中学（旧一中、現札幌南高）だけで、道内に4校しかなかった。札幌の人口が約9万人に膨れあがるとともに、若者の教育熱も高まり、札幌中学の倍率が約4倍という狭き門となったことから、明治45年（1912年）、道内5番目の庁立男子校として、本校「北海道庁立第二札幌中学校」の開設が認可された。

札幌南高とは兄弟、北高・東高とも家族関係

明治45年（1912年）に、第二札幌中学（本校）と札幌中学（現札幌南高）が、1つの学校のようにまとめられて入学希望者が行われるとともに、札幌中学の校舎を利用して授業がスタートした。1学年5クラスのうち、甲、丙、戊の3クラスが札幌中学、乙と丁の2クラスが本校にあてがわれた。すなわち、札幌中学21期生と第二札幌中学1期生は、同じ試験で入学し同じ校舎同じ先生の下で学ぶ兄弟関係であった。

また、昭和25年（1950年）に、道立札幌第二高校（本校）と札幌第一高校（現札幌南高）、道立女子高（現札幌北高）、市立女子高（現札幌東高）の四校が、男女共学のため札幌東・西・南・北高に再編された。在校生は各校に強制的に移動させられ、級友と泣く泣く別れた。生徒は、移動しても前の学校が忘れられず、東西南北は家族のような関係と言える。

西高はいつも本道を代表するモダン校舎

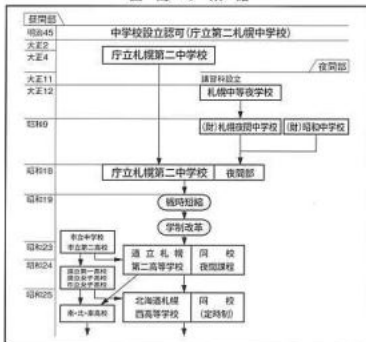
初代校舎は、大正2年（1913年）に北3条西18-19丁目に建設された。エメラルドグリーンのペンキに塗られた二階建ての当時としてはモダンで洒落た校舎であった。

二代目校舎は、初代校舎焼失により、昭和37年（1962年）に現在地に移転し建築された。お洒落なレンガづくりの校舎で、本道の公立高校のモデルとなるスチーム暖房・水洗トイレが導入された。

そして、現在、二代目レンガ校舎の面影を正面に残しつつ、三層吹き抜けのアトリウムがあるW型校舎へと、お洒落な校舎の伝統がまた引き継がれた。



西高の系譜



たった3ヶ月でも好きになれるのが西高

初代校舎が、昭和35年（1960年）に火災に遭った。駆けつけた教師・生徒が立ち尽くす中、札幌市の消防車全25台が出動し消火に当たったものの、大半を焼失した。教職員・生徒に悲壮感漂う中、1年の女生徒2人が、焼け跡を茫然として歩いているとき、小さなチョークを見つけた。一人が、黒ずんだ壁の外壁に「西校」と書いた。もう一人の生徒が、ほんの少し前に、学校の横を通った他校生が「西高もなくなくなったなあ」と言っていたのを思い出して、迷わず「消えず」と続けた。「たった3ヶ月の西高生でも、こんなに西高が好きなの、という思いをようやく誰かに伝えられたような気がした」と言う。この落書きは、西高生の母校を思う強い気持ちの表れであり、新聞に掲載された。



全国屈指の学校を目指して創立

初代校長善波功は、本校を創立するにあたり、北海道の小天地を目標にするのではなく、全国屈指の学校を目指していた。その結果、本校は北海道における模範校となり、当時、道庁ではどこの学校を視察したらよいかと問われると、すぐに二中と答えるようになっていた。

善波は、礼節を重んじ生徒に徹底的にたたき込んだ。規律はかなり厳しく、特に服装には厳格であった。遅刻も厳禁である。しかも始業10分前に校門が閉じられた。男女交際など考えられない時代であるため、庁立高等女学校（現札幌北高）の寄宿舎のあった北側は通行禁止となっており、生徒は厳格に従っていた。このように、善波の指導の下、二中生徒は礼儀正しく身だしなみがよくなったため、世間から「北海道の学習院」と呼ばれるようになっていた。



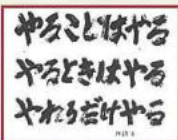
■校訓

「自由とは、真理と正義を追求し、人格の完成をめざすための基本前提
「自律」とは、その自由を支える精神
「厳格」とは、創造力の基盤となる高い知性
そして、「創造」とは人間の平和と繁栄を希求し、豊かな文化をつくりあげる力。
シンプルながらの単語に深く大きな意味を込めた西高の校訓は、先代たちから脈々と受け継がれています。



■西高実行精神

西高生なら誰もが知っている合い言葉。
これに「やれなくてやる」を付け加えて、叱咤激励する先生もいます。



西高を支援する5つの組織

①西高PTA・②西高後援会

PTAは生徒の学校、家庭、社会生活の改善と向上を目的に、保護者と職員により組織。後援会は西高の保護者と賛助会員による組織。いずれも教育活動の充実に寄与しています。

④一般財団法人 札幌西高会

西高の卒業生とPTAの役員らが、理事や評議員を務める西高会。育英奨学金をはじめ、海外研修補助や学校環境整備、奨励賞記念品など教育活動への支援をしています。

③輔仁会（ほしんかい）

卒業生等在学した者と、名誉会員の教職員で組織する同窓会です。会員のネットワーク構築と、西高の発展に寄与することを目的としています。

⑤西高振興会（西高サポーターズクラブ）

PTA、西高卒業生の有志による組織。「西高サポーターズカード」を発行し、その手数料を現役西高生の部活動等の助成にあてています。